

# 心光寺の最近の動き

(令和七年十月二十二日発行)

## 四日市別院一日奉仕研修を行いました

去る十月十二日(日曜日)、四日市別院一日奉仕研修を行いました。参加者は住職と坊守を含めて十六名(信行寺門徒二名の希望参加を含む)。小型貸切バスで午前九時に心光寺を出発。当日は心配していた台風の影響もなく、穏やかな秋日和の天気にも恵まれました。

午前十時に別院到着。午前十時三十分から開会式。開会式では、勤行の後別院職員の小袋潤さんから東別院の歴史等についてお話があり、続いて別院輪番の寺本温先生から歓迎のご挨拶。その後別院本堂で記念写真撮影。その後みんなで手分けして広い別院本堂の中と廊下を掃除しました。皆さん一生懸命に掃除してくださり、いっしょに掃除された小袋さんも喜んでくださいました。

正午から十二時四十分まで昼食、休憩。その後一時間ほど、別院輪番の寺本温先生によるご法話をご聴聞致しました。

ご法話の概要は、仏法は自分の物差しで仏法を聞くのではなく、仏法によって自分の物差しを聞く。自分の物差しは自己中心の物差し。自分を善しとしているから、思い通りにいかないと人や周りに対して愚痴が出る。「有難う」を忘れた生き方になる。仏法は、そういう日ごろ気付かない自分の心を映す鏡であるというお話でした。

参加された方のお一人は、「自分が茶碗を割った時は『茶碗が割れた』と茶碗に責任があるような言い方をするが、他の人が割った時は『〇〇さんが割った』とその人に責任がある言いい方をする、というお



背中を阿弥陀様に見護られながら パチリ

話を聞いて、『本当にそうだな』と面白くまた印象に残った。そんな自



## 心静かに仏様を念じながら 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

分の心  
の姿  
は、お  
話を  
聞かな  
いと気  
付けな  
いと思  
った。  
よいお  
話した  
った」  
と話し  
てくだ  
さいま  
した。  
法話  
の後  
は、小  
袋さん  
のご案内  
で、  
まず東  
別院に  
隣接す  
る西別

院を参拝しました。西別院は、木造建築としては九州最大の建物ということ  
です。その後四日市の門前町を散策。皆さんお土産を買ったり、ソ  
フトクリームを食べたりしながら、和気あいあい、ゆったりとしたひと  
時を過ごしまし  
た。

午後三時閉会  
式。その後小袋  
さんに見送られ  
ながら別院にお  
別れし、午後四  
時三十分心光寺  
に帰着。  
お疲れ様でし  
た。

皆さん参加し  
て良かったとの  
感想でした。

今後また機  
会をみてこうい  
う研修会を計画  
したいと思いま  
す。今回参加で  
きなかった方も  
次回是非ご参  
加くださいませ。



心をこめて清掃奉仕 きれいになったかな